

## 個人の自主性を尊重した学び

### カリキュラムの POINT

データをもとに学生の興味・関心が高い科目をカリキュラムに反映させている。2年次のコース分けによって、学生はより意欲的に学ぶため、語学力と文化研究のバランスを各人の興味に応じて設定することができる。



### カリキュラム

### Zoom in! [本学科の注目科目をご紹介します]

	第1年次以上	第2年次以上	第3年次以上	第4年次以上	
専攻科目	フランス語基礎	●フランス語基礎文法A・B◎ ●フランス語基礎会話I・II◎ ← Zoom in! 02 64ページ ●フランス語基礎総合I～III◎ ●フランス語文化基礎演習A・B◎			
	フランス語応用		●フランス語コミュニケーション集中演習I・II△ ●フランス語コミュニケーション集中演習III A・B△ ●フランス語コミュニケーション演習IA・B△ ●フランス語コミュニケーション演習II A・B△ ●フランス語コミュニケーション演習III A・B△ ●フランス語文化演習A・B△ ●フランス語テキスト演習A・B△	← Zoom in! 01 62ページ	
	フランス語学	●フランス語文法A◎ ●フランス語文法B	●フランス語学準備実習	●フランス語学研究I・II ●メディア・フランス語	
	フランス文化		●フランス現代社会論 ●フランス事情 ●フランス映画論I ●フランス食文化研究 ●フランスモード研究 ●フランス史研究 ●フランス表象文化論 ●フランス文化遺産論	●フランス映画論II ●フランス文学研究I・II	
	フランス語アトリエ			●フランス語アトリエ◎ ← Zoom in! 03 64ページ	
	特殊講義		●特殊講義	●演習 ●卒業論文	
関連科目	ヨーロッパに触れる	●イギリス文化論 ●アメリカ文化論	●ヨーロッパ・地中海文化史A・B ●ヨーロッパ文学論A・B ●ヨーロッパ・カルト文化論A・B ●イタリア・地中海文化論A・B ●古代キリスト教文化論A・B ●ヨーロッパ史A・B ●イギリス文学史A・B ●アメリカ文学史A・B	●ヨーロッパ経済論	
	アジアと日本を知る 文化や芸術に親しむ		●アジア大衆文化論A・B ●国語学A・B ●日本文化史A・B		
	現代社会をとらえる	●生命倫理学 ●人権と福祉 ●ボランティア活動論	●比較文化史A・B ●文化人類学A・B ●表象文化史A・B ●表象文化論A・B ●芸術文化史A・B ●美学・芸術学A・B ●表象メディア論A・B ●文化社会学A・B ●文化創造論A・B ●比較文化概論A・B	●現代哲学思想A・B ●ジェンダー論A・B ●商学入門 ●流通総論 ●流通史 ●簿記原理I・II ●経営学入門 ●経営情報学入門 ●保険史 ●マクロ経済学I ●ミクロ経済学I ●民法概論	●ジャーナリズムA～D ●経済地理 ●商法概論
	国際社会に生きる	●国際政治経済論 ●国際関係史 ●平和研究	●国際ビジネス ●世界経済論 ●国際法 ●国際人権法 ●国際環境法	●世界と日本の経済 ●国際経済法	
	言語・情報リテラシーを身につける	●英文ワープロI・II ●英会話I ●情報活用基礎 ●情報処理応用IA～IE ●情報処理応用II・III ●海外語学学修I・II	●コミュニケーション概論A・B ●英会話II	●英会話III ●言語学A・B ●時事英語 ●ビジネス英語	
共通科目	キリスト教	●キリスト教I・II◎ ●キリスト教人間学A・B	●キリスト教I・II◎ ●キリスト教人間学A・B		
	人文学	●西南学院史 ●哲学 ●倫理学 ●論理学 ●日本史学 ●東洋史学 ●西洋史学 ●美術史 ●日本文学 ●西洋文学A・B ●中国文学 ●音楽史 ●心理学I・II	●法(日本国憲法2単位を含む) ●経済学 ●社会学I・II ●政治学 ●国際関係論 ●地理学概論 ●人権問題論 ●同和問題論	●数学入門I・II ●情報数学I・II ●物理学入門I・II ●生活の化学I・II ●地球科学I・II ●環境地理I・II ●生命科学I・II ●自然科学概論I・II ●環境の科学I・II	●スポーツ理論I・II ●スポーツ実習I～IV

◎印は必修、△印は選択必修

### Zoom in! 02

#### [フランス語基礎会話I]

フランス語を使って自己表現をすることを目的として、学生全員が日常的なトピックスを会話形式で発表し学びます。

### Zoom in! 03

#### [フランス語アトリエ]

現代社会をテーマとした数々の映画をとりあげて、各々を作品として学ぶとともに、現代フランス社会を映し出すものとして考察していきます。

## 学科の学び TOPICS 研究旅行プログラム 「P.コミュニコン」

フランスはもちろん、ヨーロッパ、アフリカ、アラブ諸国、アジア太平洋などフランス語圏への自主的な体験旅行を奨励しています。食文化、芸術、ファッション、歴史、生活習慣など各自が興味のある分野からテーマを設定し、実際に現地へ行って取材調査を行う、「P.コミュニコン」というプログラムがあります。現地の人とフランス語で話し、地域の行事に参加してみるなど各自が異文化を体験し、体験の中から新しい気づきを得て、多文化社会に生きることへの理解を深めています。



### P.コミュニコン ホームページ

<http://www.seinan-gu.ac.jp/france/communiquons/index.html>

研究内容は、帰国後レポートや動画として提出。完成した作品は専攻ホームページで紹介しています。

### 卒業後の進路

航空業界、旅行会社、出版社、放送局、ファッション業界、外資系企業などを希望する学生が多く、実績もあります。それ以外にも業種を問わず社会の各分野で活躍しています。より専門的に、通訳や翻訳家、日本語教師など、語学のスペシャリストとして活躍している卒業生もいます。なお、本学大学院に進学する場合は、要件を満たしたうえで、3年以上の在学中で卒業を認める早期卒業制度があります。



### OB & OG's Message

### 読売新聞西部本社 勤務

#### 学生生活について

はじめは英米文化に興味を持っていましたが、もっと幅広い視野で世界を見つめてみたいと考え、フランス語を専攻することにしました。それまでに習ったことのないフランス語を一から習う中で、言葉の成り立ちやフランスの歴史、文化、現代社会を多角的に学びました。外国人教授による日本語抜きの授業や、フランス語を使って発表をする機会が多く、最初は緊張の連続でしたが、いつしか人前で話すことも苦にならなくなっていました。今、新聞記者としてどんな取材相手にも物怖じしない精神力が求められるので、学生時代に鍛えられた経験が非常に役立っています。記事を執筆する上でも、フランス語専攻で学んだ、物事の背景や自分の価値観とは違う価値観を認める姿勢を大切にしています。

#### 先輩へのアドバイス

「語学の西南」ですから、外国語を学ぶ環境が充実しています。少人数制の授業はもちろん、スピーキングやヒアリングを磨くための教室や機材、留学のチャンス、留学生との接点にも恵まれています。私自身も学生時代は何度も海外旅行に行きました。世界の主要都市にアクセスしやすい福岡市という立地も存分に生かして、世界に羽ばたいてください。

違う視点で違う文化を見る、その多角的な視野が社会に出てからの財産になります。

2006年  
文学部外国語学科フランス語専攻卒業  
(福岡県久留米高等学校出身) 澤井 友宏さん